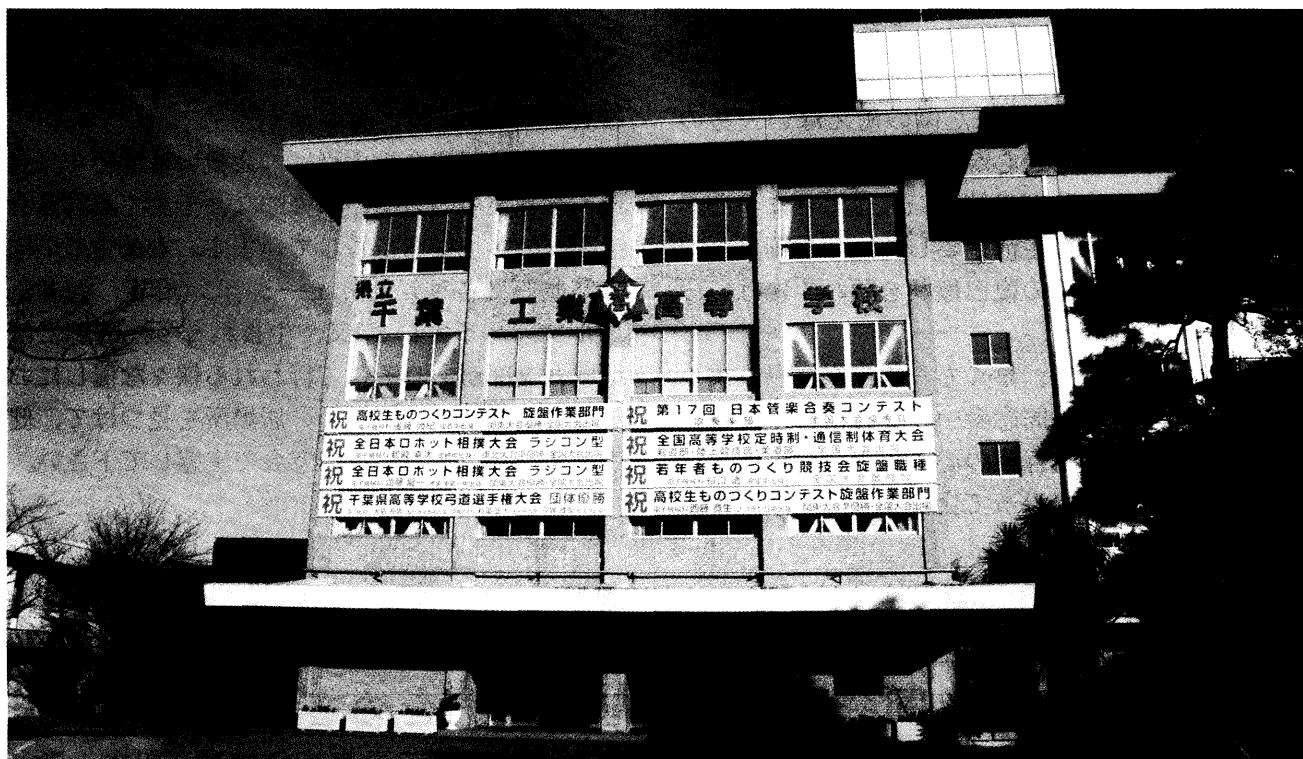


# 千葉工業同窓会報

平成24年3月1日

第23号

発行 千葉工業同窓会



## 目次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 楽しい同窓会づくり 健康と楽しさを実感         |    |
| 千葉工業同窓会会長 高橋正己……………         | 2  |
| 千葉工業高校と同窓会のさらなる飛躍をめざして      |    |
| 千葉県立千葉工業高等学校長 松本 透……………     | 2  |
| 総務委員会活動の報告 深山 傳……………        | 3  |
| 環境整備委員会の活動の報告 大野繁樹……………     | 3  |
| 広報編集委員会の活動報告 若月忠良……………      | 4  |
| 同窓祭実行委員会の活動報告 宮崎一雄……………     | 4  |
| 千葉工業同窓会 役員名簿……………           | 4  |
| 事務局報告 松浦 悟……………             | 5  |
| 同窓会報基金のご協力をお願い 若月忠良……………    | 5  |
| レクリエーション委員会の活動報告 宮崎一雄……………  | 6  |
| ・ゴルフ同好会 ・麻雀同好会              |    |
| ・囲碁同好会 ・ハイキング同好会            |    |
| 支部だより紹介……………                | 8  |
| ・南総支部 ・外房支部 ・千葉市西支部         |    |
| ・京葉支部 ・市原市支部 ・北総支部          |    |
| ・東葛支部 ・千葉市東支部 ・千葉市中支部       |    |
| 北総支部 20周年記念祝賀会……………         | 13 |
| 京葉支部 創立15周年祝賀会を催す 宇野昭房…………… | 13 |
| 「森川先生の思い出と我が少年期」 吉田千尋……………  | 14 |
| 私と登山 宇野仁章……………              | 15 |
| 特修1期生として 伊藤洋一……………          | 16 |

|                                            |    |
|--------------------------------------------|----|
| 山本正勝氏(25E) 平成23年安全功労者                      |    |
| 内閣総理大臣表彰を受ける 関口昌利……………                     | 17 |
| 朗読ボランティア「佐倉市こおろぎの会」 古川千枝子……………             | 17 |
| 東日本大震災による福島県立小高工業高校からの転校生 紺野 豊……………        | 18 |
| 東日本大震災 旭市義援金のお礼について……………                   | 18 |
| 元バレーボール監督 中谷先生を囲んで 吉原 茂……………               | 19 |
| 千葉マスタース陸上競技選手権大会で金メダル2個 大野繁樹……………          | 19 |
| 千葉工業高校この一年……………                            | 20 |
| ・創立記念講演会 ・旋盤競技同好会ものづくりコンテスト全国大会出場          |    |
| ・機械発明創作部ロボット相撲 全国大会出場 ・春季植栽 ・野球部 夏の県大会     |    |
| ・山岳部JOC出場 ・吹奏楽部 全国大会で優秀賞 ・千工ならではの部活動 地域で活躍 |    |
| ・第59回 千工祭 ・総合技術コンクール 知事賞受賞 ・自動車部 HONDAエコ   |    |
| マイレッジチャレンジ2011 ・2年生がインターンシップ ・ベトナム国際交流事業   |    |
| 第13代校長 渡邊貞雄先生 ご逝去される 松浦 悟……………             | 21 |
| 平成23年度進路状況(全日制)……………                       | 22 |
| 「千葉工業同窓会」地域支部会員、大募集……………                   | 23 |
| 編集後記……………                                  | 23 |
| 第22号 お詫びと訂正……………                           | 23 |
| 第27回「同窓祭」開催のご案内……………                       | 24 |
| 恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内……………                      | 24 |
| 同窓会幹事会の開催……………                             | 24 |
| 原稿・情報をお待ちしています……………                        | 24 |

## 楽しい同窓会づくり 健康と楽しさを実感

千葉工業同窓会会長 高橋 正己 (32C)



昨年の3.11震災は、大きな爪痕を残し忘れる事の出来ない未曾有の大震災となりました。震災の爪痕は、千葉県にも及び津波と液状化の災害をもたらしました。未だ傷の癒えない大勢の

方達の心内を思うとき心が痛みます。被災地福島県から、三名の生徒が母校に転入してきました。その後、元気に学校生活過ごしていると聞き一安心しています。早期の復旧復興を願わずにはいられません。

同窓会を預かって、早くも一年半が経過しました。その間「楽しい同窓会…」を目標に、多少の意見の相違も寛容と互譲の心を頂きながら、千葉工業同窓会の目的に沿って会員相互の親睦融和に

努力してきました。活動では、同窓祭の開催を震災で中止せざるを得ませんでした。同窓会報及び会員名簿の発行、母校の充実と発展への寄与、地域支部の助成にと、歩調を合わせて順調に活動を続けてきました。皆様のご協力に感謝申し上げます次第です。

千葉工業同窓会の主役は、会員の皆様です。会員一万有余名の方々の積極的な、千葉工業同窓会活動への参加をお待ちしています。本部主催の同窓祭並びに各種レクリエーション(麻雀、囲碁、ゴルフ、ハイキング)又、生まれ育った故郷には地域九支部がありそこで行われる様々な催しにお気軽に顔を出して下さい。居場所を見つけて、健康の楽しさを千葉工業同窓会で実感して下さい。

## 千葉工業高校と同窓会のさらなる飛躍をめざして

千葉県立千葉工業高等学校長 松本 透



千葉工業同窓会の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、皆様の母校である本校の教育活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

ございます。厚く御礼申し上げます。

また、本年度は、校長として着任して以来9つの支部のうち8つの支部総会に出席させていただき、大変お世話になりました。この原稿を書いている段階では、9つ目の3月行われる南総支部の総会を待つばかりです。楽しみにしています。よろしくをお願いします。

本年度は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と津波、そして福島第1原発の事故の影響で、「同窓祭」が中止になりました。24年度は是非開催できることを願っています。

さて、私ごとで大変恐縮ですが、校長として着任して1年が経ちました。千葉工業高校には13

年間お世話になり、定年まであと1年を残すのみとなります。平成4年から10年間、電子機械科の職員として、平成18年から2年間、教頭として勤めさせていただきました。平成20年から3年間船橋豊富高校の校長を勤め、普通高校の経験をさせていただきました。4月に戻ってきて感じたことは、正面の横断幕が3本から8本に増えていました。山岳部の活躍とともに、コンピュータ技術研究部、機械発明創作部、そして旋盤競技同好会の活躍がありました。本年度も旋盤競技同好会の生徒は千葉県で優勝し、関東大会でも優勝しました。全国大会が12月に東京で行われることになっていて、関東の代表として1人出場します。活躍が期待されます。これも、生徒・職員の頑張りとともに、千工会、同窓会の方々の御支援の賜物と感謝申し上げます。

最後になりましたが、千葉工業同窓会のさらなるご発展と会員各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

## 総務委員会活動の報告

総務委員長 深山 傳 (38E)



本年は、「平成23年3月11日に発生した東日本大震災」により、地震・津波に加え原子力発電所の放射能災害と東北・関東地方は未曾有の被害を受け、現在も終息されない状況が続いております。災害に見舞われました被災者に対し哀悼の誠をささげたいと思います。

千葉工業同窓会も災害発生後、速やかに御見舞の義援金を赤十字や地元自治体を通じ被災地へお送りいたしました。更に、被災地（福島県浪江町の県立小高工業高校）からの母校への転入生受け入れに伴い教科書や制服などの購入費用の援助を行ってまいりました。一日も早く普通の生活が出来ますようご祈念申し上げます。

さて、昨年からの課題でありました新入会員の加入増員対策費の助成や支部活動の更なる活発推

進策の一環として活動費の助成を図る事が出来ました。

母校と同窓会との繋がりについてご紹介し、現在学校校内の美化運動の一環として実施している「環境整備」に加えて、学校が保護者や地域住民の信頼応え、地域の向上の核となる学校づくりを進めるため、学校と地域がより一層連携を深める事が求められております。千葉県教育戦略ビジョン「家庭・地域と連携した魅力あふれる学校づくり」として「開かれた学校づくり委員会」が平成20年から母校にも設置され、同窓会本部役員が学校長より委託を受け委員長に就任し、本年も2回に亘る委員会並びにミニ集会を開催し、魅力ある学校づくりに貢献しております。

会報をご覧の皆さん、同窓生の集まる同窓会行事に多数の方々が参加され、英気を養い「楽しく、元気で、長生き」をしようではありませんか。

## 環境整備委員会の活動の報告

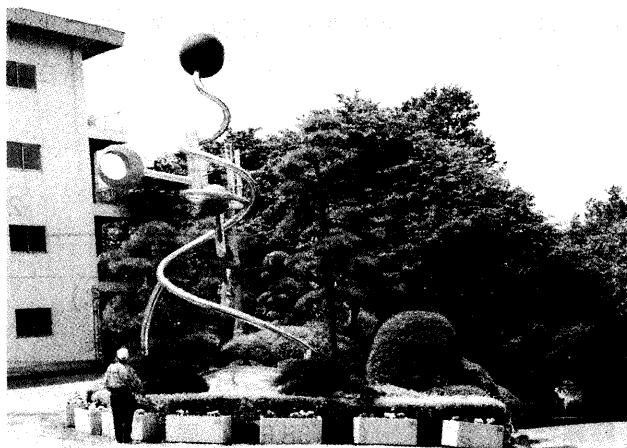
環境整備委員会委員長 大野 繁樹 (36M)



平成23年度は4回の実施で、第1回春季植栽は5月22日（日）に、日々草とペチュニアを植栽し、猛暑の中生き生きと咲いてくれました。第2回目秋季植栽は9月22日（木）にペンタスを植えて、これも見事に大きく成長し見事な花を沢山咲かせてくれました。第3回は11月20日（日）は整備作業の予定でしたが、実施する作業が特になく、中止と致しました。第4回は24年1月22日（日）にストックの植栽です。作業終了後に第2回環境整備委員会を開催しました。

いずれも先生、同窓会本部役員、同窓会々員、元PTA役員と多くの方々のご協力と生徒美化委員の合同作業で実施しました。

参加、ご協力して頂く多くの方々にはお忙しい中、本当にありがとうございます。会員の皆様には、相変わらずのご協力の程よろしく申し上げます。



## 広報編集委員会の活動報告

広報編集委員長 若月 忠良 (37M)



同窓会報第22号を発行し一  
段落した時点で、3/11の東  
日本大震災が発生しました。そ  
の後の吹奏楽部の演奏会、「第  
26回同窓祭」の中止、外房支  
部定期総会の延期等、行事にも

影響がありました。

編集委員の事務局長は大塚昌男先生から松浦悟  
先生、千葉市東支部は井上誠一さんから野村隆男  
さん、東葛支部は滝口貞一さんから富田博さんに  
交代されました。

23年度の活動は

- ① 7/15 各支部長に編集委員選出のお願い
- ② 9/17 第1回編集委員会開催 編集方針
- ③ 11/19 第2回編集委員会開催 原稿集め
- ④ 1/14 第3回編集委員会開催 校正
- ⑤ 3/1 第23号同窓会報発行

等を実施、無事に同窓会報を発行できました。

今後とも高橋会長の「楽しい同窓会」をモットーに、皆様の同窓会報を発行したいと思います。  
ご協力・ご支援の程よろしく申し上げます。

## 同窓祭実行委員会の活動報告

同窓祭実行委員長 宮崎 一雄 (42C)



私たち同窓祭実行委員会は、  
皆様に同窓祭を楽しんでいただ  
くことを目的に活動しております。

しかし、平成23年4月17  
日(日)に「第26回同窓祭」  
を母校にて開催すべく計画し、千葉工業同窓会報  
(第22号)で会員の皆様にご案内したところですが、  
3月11日発生の「東日本大震災」「原子  
力発電所事故に伴う計画停電」「千葉市での鳥イン  
フルエンザ発生」等の事件をふまえ、3月28  
日臨時の同窓祭実行委員会を開催し残念ですが中  
止といたしました。

参加申込みされた方には、急遽、葉書により中  
止の連絡をいたしました。開催を楽しみに当日  
来場された松沢様(土浦市在住)、高木様(さい

たま市在住)、三代川様(習志野市在住)には大  
変ご迷惑をおかけいたしました。

なお、同窓祭の中止に関しまして、皆様の参加  
費を義援金の一部とし、本部、実行委員会で協議  
のうえ4月3日県内で甚大な被害を受けた千葉県  
旭市飯岡支所に、30万円を寄付していることを  
報告させていただきます。

### 【活動状況】

- ・2/23 第26回 同窓祭実行委員会
- ・3/28 第26回 同窓祭臨時実行委員会
- ・4/17 第26回 同窓祭中止
- ・12/1 第27回 同窓祭実行委員会
- ・2/9 第27回 同窓祭実行委員会
- ・4/15 第27回 同窓祭

## 千葉工業同窓会 役員名簿

2012年1月1日現在

| 会長          | 顧問                     |
|-------------|------------------------|
| 高橋 正己 (32C) | 段木 正視 (20C)<br>松本 透 校長 |

| 副会長              | 事務局            | 会計監査        | 環境整備委員長     |
|------------------|----------------|-------------|-------------|
| 総務担当 深山 傳 (38E)  | 局長 松浦 悟 (53E)  | 宇野 昭房 (34M) | 大野 繁樹 (36M) |
| 広報担当 若月 忠良 (37M) | 次長 中村 啓介 (60E) | 高石 進 (35M)  |             |
| レク担当 宮崎 一雄 (42C) |                | 斎藤 公彦 (37C) |             |
| 同窓祭担当 同上         |                |             |             |

## 事務局報告

事務局長 松浦 悟 (53E)

千葉工業同窓会は、今年度下表のような予算で活動しています。本会は母校への助成活動、会員の親睦を目的に活動しております。同窓祭や委員会活動、各支部の活動など、県下でも一番積極的な同窓会活動をしています。皆さまの参加をお待ちしています。

平成23年度の主な活動を報告します。

平成23年 4月 7日 入学式  
           23日 千葉市西支部総会  
       5月 6日 創立記念講演  
           8日 京葉支部総会・15周年祝賀会  
          10日 常任幹事会  
          15日 幹事会  
          21日 市原市支部総会  
       6月 4日 北総支部総会  
          12日 東葛支部総会  
          19日 千葉市東支部総会  
       7月 3日 外房支部総会  
          10日 千葉市中支部総会  
      10月 5日 支部長会議  
          30日 北総支部創立20周年祝賀会  
      11月 5日 千工祭  
 平成24年 3月 3日 卒業式  
          11日 南総支部総会

### 平成23年度 同窓会予算

収入の部 (単位: 円)

| 科 目 | 金 額        |
|-----|------------|
| 繰越金 | 2,803,587  |
| 入会金 | 799,200    |
| 名簿代 | 754,800    |
| 助成金 | 7,100,000  |
| 繰入金 | 900,000    |
| 負担金 | 102,000    |
| 雑収入 | 413        |
| 合 計 | 12,460,000 |

支出の部 (単位: 円)

| 科 目   | 金 額        |
|-------|------------|
| 名簿作成費 | 1,000,000  |
| 文化費   | 250,000    |
| 会議費   | 750,000    |
| 通信費   | 80,000     |
| 教育功労費 | 200,000    |
| 行事費   | 1,000,000  |
| 支部助成費 | 1,300,000  |
| 事務費   | 30,000     |
| 会報発行費 | 2,400,000  |
| 渉外費   | 850,000    |
| 予備費   | 1,300,000  |
| 繰越    | 1,900,000  |
| 名簿分担金 | 1,400,000  |
| 合 計   | 12,460,000 |

## 同窓会報基金のご協力をお願い

広報編集委員長 若月 忠良 (37M)

同窓会報基金へのお願いは、平成13年発行の第13号から開始し、10年を経過しました。

会員の皆様には多数のご寄付を賜り、有難うございます。

基金は、会報を皆様方にお届けする為に、発行の資金に充当させていただいております。

同窓会報は、卒業時の永年同窓会費3,600円と、同窓会報基金、および本部からの助成金で発行しており、卒業生も2万人を超えております。

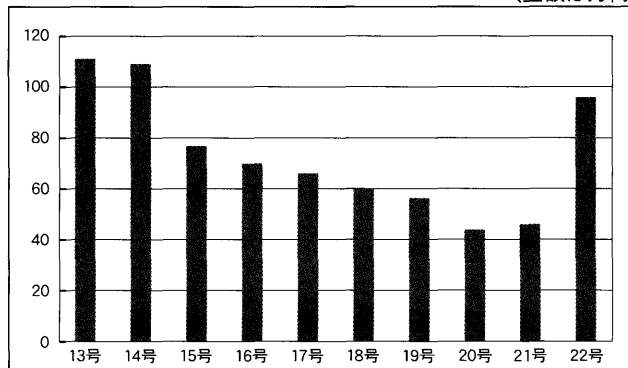
最近の同窓会報基金のご寄付状況は、年々減少しておりましたが、前号22号では開設時に迫る程に回復し、我々編集委員一同大変感謝しております。会報の発行に当たっては、経費の削減等考慮しておりますが、凋落傾向が続けば、会報のペ

ージ数の削減等も考えていかねばなりません。

願わくば、将来に亘り開設時の水準にまで回復して頂けます様、切にお願い致します。

### 同窓会報基金のご寄付状況

(金額は万円)



## レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員会委員長 宮崎 一雄 (42C)

レクリエーション委員会には、4つの同好会（ゴルフ、麻雀、囲碁、ハイキング）があり、多くの方々が参加し、親睦と融和を図っています。

平成23年度の活動内容をご報告しますが、各同好会の活動状況を読まれ、今後も会員の皆様が多数参加され「楽しい同窓会」活動の一助としていただきたいと思います。

なお、今後は木間英一氏(33C)に委員会活動の取り纏め等をお願いしております。

### ○ゴルフ同好会



ゴルフ同好会は第13回コンペを「真名CCゲーリー・プレイヤーコース」で平成23年10月18日(火)に昨年と同人数の56名の参加を得て盛大に開催しました。残念ながら本年は全員無事ホールアウトとはなりませんでしたが、日頃の精進の成果が発揮された結果は以下の通りでした。

個人戦 優勝：山田俊雄氏(市原市) 準優勝：尾高幸男氏(北総) 三位：豊岡三男氏(京葉)

団体戦 優勝：市原市支部 準優勝：南総支部 三位：千葉東支部

13名と最大人数の参加者、個人戦優勝者、さらに、ニアピン賞4本全部を獲得の女性陣を有した市原市支部が、団体戦で昨年の三位から見事優勝を果たし市原市支部の活躍が際立った大会でした。

例年通り平成23年10月25日に参加者から預かりましたチャリティー募金(2万円)を「社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会」へ寄付しました。

次回第14回コンペは今回と同じく「真名CCゲーリー・プレイヤーコース」で平成24年10月16日(火)を予定していますので、多くの皆さんの参加をお願いします。

ゴルフ同好会事務局長 市川 新一 38M

電話 0475-23-1047

### ○麻雀同好会



麻雀同好会は現在70名の会員にて活動して居り、第16回大会は平成23年10月22日(土)参加者32名にて、千葉市『麻雀・大都』にて開催致しました。

団体戦、個人戦2部門の熱戦が展開され最終成績は、団体戦は優勝：千葉市西支部、準優勝：千葉市東支部、第3位：南総支部。個人戦は優勝：海保悟氏(北総支部)、準優勝：石橋暁氏(千葉東支部)、第3位：海保保氏(千葉西支部)でした。

大会終了後の懇親会は場所を千葉駅前の『さくら水産』にて18名の参加にて大いに盛り上がり、次回の再会を約束して終了致しました。

麻雀同好会事務局長 木間 英一 33C

電話 047-343-0455

## ○囲碁同好会

囲碁同好会も発足以来10年目に突入、今年度末で38回目の大会を数えることになりました。会員登録数は40名前後で大きな変動はありません。大会毎の参加者は10～15名、ちょっと参加率が悪いかな？

毎回、西千葉囲碁センターで開催しています。年間行事の中で会員の最大の楽しみは母校囲碁部現役の高校生との親睦交流会です。今年も7月26日に開催、囲碁部顧問の小倉恭子先生に率いられた生徒および教員の愛好者2名と同好会腕自慢の猛者たちが碁盤を囲みときのたつのを忘れて楽しいひと時を過ごしました。

少々部員が少ないのが母校囲碁部の悩みのようです。晋段の大会時終了後毎回近くの居酒屋での二次会がもう一つの楽しみでこれが目当てで来る人もいるのかも？

第35回 23年 4月19日

第36回 23年 7月26日 親睦交流会

第37回 23年10月25日

第38回 24年 1月17日

西千葉囲碁センターには将棋も備えられていますので、将棋の好きな方もぜひご参加ください。お待ちしております。

囲碁同好会会長 高橋 健一 26C

電話 04-7159-9367

## ○ハイキング同好会活動報告



ハイキング同好会は現在80名の会員で、春と秋(初冬)の年2回活動しています。春は名所旧跡を訪ねてお花見等、主に平地のウォーキングを、冬は関東周辺の低山のハイキング(軽登山)を行っています。

平成23年春は4月2日に「房総のむら」のウォーキングを行う予定でしたが、3月11日の東日本大震災の影響で中止いたしました。誠に残念でありましたが参加者には中止の理由を説明しご理解して頂きました。

初冬(12月3日)には高尾山のハイキングを行いました。当初29名の参加申込が御座いましたが、体調不良等都合の悪い方、又早朝に地震が発生し一時電車が不通になったため来られない方も居りまして、最終的に22名の参加者となりました。

貸切バスで定刻よりすこし遅れて千葉を出しました。高尾山は東京の中心部より西に寄っているので雨が早く上がることを期待しての出発でした。

登山道(1号路)を歩いて登る人とケーブルカーで行く人と分かれて登り始めました。舗装された登山道は川のように雨水が流れていました、ケーブルカーで登った方は沿線のイロハモミジが丁度見頃で大変素晴らしかったと言っておりました。

頂上に着いて弁当を食べ終わる頃に晴れてきて、山なみには雲海がかかり、相模湾には江ノ島も見えてきました。雨の為、埃が落ちて遥か都心のビル群、スカイツリーや東京タワーも見えました。予定の3時前には全員無事下山致しまして、仕入れておきました酒も回り楽しく帰路につきました。

24年度も2回行事を計画して居ります。なるべく会員の皆様が多く参加できるハイキングコースを考えて居ります。皆様、日頃から足腰を鍛えて是非ご参加下さる様御願いたして居ります。

ハイキング同好会事務局長 腕木 武男 38E

電話 043-294-7969

### 平成24年度 同好会開催予定

| 同好会名  | 開催日                                                      | 開催場所            |
|-------|----------------------------------------------------------|-----------------|
| ゴルフ   | 24.10.16(火)                                              | 真名CC・GPコース      |
| 麻雀    | 24.10.27(土)                                              | 千葉市『麻雀・大都』      |
| 囲碁    | 24. 4.17(火)<br>24. 7.31(火)<br>24.10.23(火)<br>25. 1.15(火) | 西千葉囲碁センター       |
| ハイキング | 24. 4. 7(土)<br>24.11.17(土)                               | 房総のむら<br>那須 茶臼岳 |

## 支部だより紹介

昨年3月11日に東日本大震災が発生し、千葉県下にも多大な被害を被りました。各支部の定期総会は、外房支部が4月より7月に変更になりましたが、八つの地域支部は予定通り無事開催できました。

各支部には、支部の設立趣旨に賛同された同窓生が、若干の年会費を納めて加入されています。勿論、支部へ加入されなくても、皆様が同窓会員である事に変わりはありませんが、いずれかの支部へ加入される事に依って、より多くの同窓生と交流する機会が増し、より有意義な人生を送る事ができるでしょう。

まだ加入されていない方は、この機会に是非加入をされます様、お願い致します。

### 各地域支部 定期総会開催予定

|   | 支部名  | 地 域                         | 開催月日     | 開催場所          |
|---|------|-----------------------------|----------|---------------|
| ① | 南総   | 袖ヶ浦、木更津、君津、富津、鋸南町以南         | 3月11日(日) | 君津市・ホテル千成     |
| ② | 外房   | 東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅           | 4月 8日(日) | 東金市・八鶴亭       |
| ③ | 千葉市西 | 美浜区、花見川区、稲毛区                | 4月21日(土) | 千葉市・プラザ菜の花    |
| ④ | 京葉   | 船橋、習志野、鎌ヶ谷、八千代              | 5月 6日(日) | 船橋市・割烹 玉川     |
| ⑤ | 市原市  | 市原市全域                       | 5月19日(土) | 市原市・サンプラザ市原   |
| ⑥ | 北総   | 成田・栄、佐倉、酒々井・富里、四街道、八街、印西、香取 | 6月 3日(土) | 佐倉市・ホテルリッチタイム |
| ⑦ | 東葛   | 市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、県外        | 6月10日(日) | 我孫子市・鈴木屋本店    |
| ⑧ | 千葉市東 | 若葉区、緑区                      | 6月17日(日) | 千葉市・プラザ菜の花    |
| ⑨ | 千葉市中 | 中央区全域                       | 7月 8日(日) | 千葉市・プラザ菜の花    |

◎支部だよりの○数字は定期総会開催日の順番、支部長名、連絡電話番号、地域、総会開催日、総会場所

### ①南総支部だより

支部長 齊藤 誠一郎 (37E)

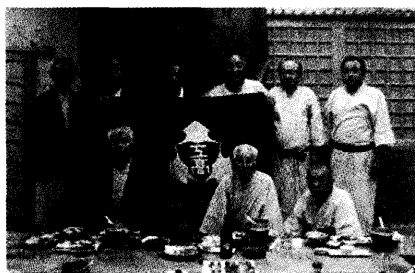
●電 話／0439-52-3059

●地 域／袖ヶ浦、木更津、君津、富津、鋸南町以南

●定期総会／平成24年3月11日(日) 君津市 ホテル千成

#### 東日本大震災と南総支部

長谷川 敏一 (39M)



南総でも立ってられないほどの、大きな揺れに襲われました。富津市の岩瀬付近から南では停電し、復旧したのは夜中の3時頃です。東京湾にも津波の影響があり、堤防を越える浸水や船溜まりで漁船が転覆しました。南総会員の中にも、帰宅困難になったり、コンビナート火災で大変な苦勞をした人もいます。

南総支部の総会は、3月13日(日)だったのですが、前日は余震もあって列車が動かず、翌日からは計画停電で平常ではなくなりました。この日だけが比較的平穏な一日だったのです。役員の間で総会を開催すべきかどうか相談したのですが、直前のことで、決行してしまいました。あとから考えてみれば、同窓祭、吹奏楽部OBの演奏会は中止、外房支

部の総会は延期という状況で、「申し訳ないような」奇跡的な総会になってしまいました。

震災の影響で、4月に予定されていた「三舟山のハイキング」と8月の「木更津花火大会見物」は、自粛による中止です。「南総だより」103号のタイトルは「がんばろう日本」でした。それぞれの立場から、東日本大震災の復興に協力しました。南総だより104号には、稲毛基浩さん(57C)の災害ボランティア体験談などがあります。

南総支部の行事「秋の親睦宿泊旅行」ですが、いつもであれば、地元を選んでいました。今回は復興支援の気持ちを込めて、津波被害のあった旭市飯岡に行くことに決定。飯岡漁港近くの民宿「岸壁荘」に宿泊、宿のおやじから津波の状況を聞き、片付けの進む「がれきの山」を確認し、まだ傷跡の残る街並みに驚きました。そして、屏風ヶ浦の通蓮洞の景色を見て、飯岡助五郎の墓と笹川繁蔵の首塚もお参りした。帰路には、「そとぼう」に紹介されていた片貝の「望月定子美術館」に立ち寄り、芸術の秋を楽しんだのです。

## ②外房支部だより

支部長 住田 敏和 (31E)

●電話／0475-73-4558

●地域／東金、山武、大網、茂原、長生、夷隅

●定期総会／平成24年4月8日(日) 東金市 八鶴亭

外房支部副支部長 生貫 俊明 (38C)

外房支部は、山武市の横芝から九十九里海岸を南下し勝浦迄の海岸線と内陸部は東金市から長生郡市、夷隅郡市で、県下9支部の中で広範囲の地域を有しています。

その昔昭和38年までは、大網駅と千葉駅でスイッチバックして津田沼校舎に通学しました。中でも房総東線始発の千葉駅は全国でも数少ない0番線ホームでレールは行き止りでした。

4月初めの東金の桜を満喫する定期総会を開催し、年9回の幹事会で本部の状況や、支部の活動計画、報告をしています。平成22年までは年2回程度のバスを利用しての日帰り見学会を会員の元の職場や平素プライベートでは行けない所を探して20名程の参加を得て行っています。ちなみに平成22年は、地下鉄総合指令所、日銀本店、JAL機体整備工場でした。

又、秋に1泊での親睦旅行もしていましたが平成23年度は東日本震災に相まって自粛中です。外房地区には名所旧跡や多彩なイベントも有るので今後は県内のそれらをと企画中です。ちなみに、九十九里海岸からの初日の出や勝浦のビッグひな祭り、茂原東金の桜まつり、清澄の紫陽花、秋の外房一帯の祭り、最近話題になっている波の伊八の彫刻、茂原以南には100件位が自由に見学可能です。

現状支部会員は100名強ですが、半数近くがメールを開示していますのでイベント案内等は事務局から一斉に送付し、ない方へは郵便でお知らせするようにしています。しかしながら30年代後半から40年始めにかけて京葉、茂原、東総と工業高校の創立に伴い、津田沼及び現校舎に通学する生徒も減少しました。それらの要因によって会員の増加が難しい現状です。

## ③千葉市西支部だより

支部長 石井 孝司 (30E)

●電話／043-241-2526

●地域／美浜区、花見川区、稲毛区

●定期総会／平成24年4月21日(土) 千葉市 プラザ菜の花

平成5年に創立し、早いもので今年で18年迎えています。平成25年には20周年記念祝賀会を千葉市3支部共催で盛大に実施する予定です。千葉市3支部はダンゴ3兄弟です。発足以来一致協力し大勢の会員の参加交流を考慮して共催で

- ・4月 竹の子狩りとバーベキュー
- ・5月 チャリティーゴルフ大会
- ・6月9月 グランドゴルフ大会
- ・7月 ロッテ応援ナイター見学
- ・8月 サッポロビール工場見学と試飲
- ・9月 研修バス旅行／地区懇親会
- ・12月 盛大な忘年会

など多数の行事を計画・実行しております。お陰様で楽しい支部活動ができ、多くの会員との親睦交流が図られています。これからも例えば町内の名所・旧跡を巡るハイキングなど、もっと身近で楽しめる行事を行ってゆきたいと思ひます。

今後も「明るく、楽しく、長生きしよう」の支部モットーに添って活動していきますので、宜しく、ご指導、ご鞭撻、ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。



## ④京葉支部だより

支部長 川村 義郎 (40M)

●電話 / 047-451-0247

●地域 / 船橋、鎌ヶ谷、習志野、八千代

●定期総会 / 平成24年5月6日(日) 船橋市 割烹 玉川

千葉県から総理大臣が誕生した事に千葉県人として喜び今後の政治手腕の発揮と、日本国発展の為となる活躍を期待しているところです。

当京葉支部は平成8年3月創立しましたが無事15年が経過し昨年5月無事「支部創立15周年記念祝賀会」を行う事ができ70数名のご参加を頂き楽しくお祝いをさせて頂きました。

支部行事の面では①納涼会②忘年会③地区懇親会④小型バスで行く東芝科学館・川崎大師参拝・羽田空港見学⑤成田航空科学館見学・成田山参拝⑥東京の開花予想桜(靖国神社)を見て参拝&就遊館見学と、6つの行事を行いなかなか好評でした。

年1回発行の会報「けいよう」は12号まで発行する事ができました。

次に京葉支部の地元でもあり同窓生の青春時代の思い出の地である津田沼駅近辺の現状について少々触れたいと思います。

旧津田沼校舎跡地は新京成とJRの線路に囲まれてイトーヨーカドーの店舗ビル(7F建)と他の商業施設ビルそして母校跡地の碑のある公園に姿を変えている事はご存じの方も多いと思います。総武線

はさんで反対側は、現在も千葉工大と習志野文化ホールがあり一部畑としてとり残されていた広大な土地に25F建や30F建の高層マンション建設が行われており高層住宅街へと変貌しつつあります。

そこから東京湾である海側、校歌にありました「久久田の海」の方に約1キロ程行きますと谷津バラ園と谷津干潟があります。バラ園には、約7000本のバラがあり間もなく5月に入ると咲き乱れる事でしょう。

そこに隣接する船橋競馬場では毎朝調教が行われています。旧母校の海側はその様な立地になっており一寸楽しみのある所となっております。



## ⑤市原市支部だより

支部長 大野 繁樹 (36M)

●電話 / 0436-74-5753

●地域 / 市原市全域

●定期総会 / 平成24年5月19日(土) 市原市 サンプラザ市原

市原市支部の定期総会は五井駅前の近くの便利なサンプラザ市原で実施しており、今回から土曜日に設定しました。

市原市支部は本部主催のゴルフコンペに参加者が多く第13回も14名、2組の夫妻を含め多く参加しました。そして何と山田さんが個人優勝と、更に団体でも優勝と輝かしい成績です。4位、10位その他跳び賞、ニアピンは市原の2女性で4個も頂きました。

支部活動は恒例のグランドゴルフは、今年度は12名参加し、初めての人も居りましたが本部の橋会長も参加し、好天にも恵まれ草刈公民館前で緊張の内にも楽しく実施しました。年々レベルが高くなっています。ホールインワンも4本、一人で2本出した人もおります。バーディーは皆さんが出て計

96ヶ/4ゲーム、一番多いのは20ヶ/人でした。

その他、一泊での役員会、懇親会をしております。支部会員の増を図るべく一人でも多く若い人が入会出来る様、これからの市原市支部に向けて活動していきたいと思います。



## ⑥北総支部だより

支部長 早尾 茂 (26E)

●電話／043-422-8825  
●地域／成田・栄、佐倉、四街道、八街、酒々井・富里、印西、香取  
●定期総会／平成24年6月3日(日) 佐倉市 ホテルリッチタイム

昨年の会報22号で、創立年月、地域割り、支部役員の構成等について紹介したので、23号では割愛し、23年度の活動状況を報告するとともに、今後の課題等について訴え、卒業生のご協力をお願いしたい。

昨年は創立20周年にあたり、10月に成田市で記念祝賀会を盛大に開催した。式典とアトラクションで賑わった。また翌月には、20周年記念誌(フォース・5)にまとめ発行した。

活動は10月から地区懇談会を各地区ごとに開催し、親睦・交流・融和を深めている。

支部活動では年2回の「ほくそう杯ゴルフコンペ」あり、レク行事は年2回。23年度は「川越・蔵

の町」散策と「寄席見学」を楽しんでいる。また新春散歩会は城下町佐倉市内を散策した。これらの活動状況は、年2回の会報に収録し、記録として残している。

会員数は、現在140名いるが、津田沼卒が9割、生実卒も12名ほどいる。

生実の卒業生も60才をすぎ、第二の職場人生に移りつつある。今後の課題としては、この生実の卒業生の入会を歓迎するとともに心待ちしている。定期総会は6月に地区持ち回り制により開催しており、今年は「佐倉地区」が担当する。

お問合せは支部長まで遠慮なく、気軽にお電話ください。お待ちしております。

## ⑦東葛支部だより

支部長 吉田 勝彦 (32E)

●電話／04-7191-0232  
●地域／市川、浦安、松戸、柏、我孫子、野田、県外  
●定期総会／平成24年6月10日(日) 我孫子市 鈴木家本店

### 茶道の効用

東葛支部 富田 博 (44M)



我が千葉工業高校にも茶道部が有る事皆さんご存知ですか、立派な茶室もあります。茶室は生徒会館(千工会館)二階に在りまして

生徒さんが稽古に励んでいまして、昨年、千工祭で美味しい薄茶をいただきました。

私も茶道を初めて31年になりますが、落ち着いた雰囲気味わうお茶は格別です、ここで紙面をお借りしまして、皆さんに茶道の効用を紹介したいと思います。

お茶を飲む習慣は、私たち日本人の生活にすっかりしみこんでいます。たとえば、休憩をとるとき「お茶にしよう」といいます。物事のはじめにはまず「一服」し、会や集まりは「お茶でおひらき」になり、酒席もお茶で「あがり」になります。

このほか「お茶漬け」「お茶うけ」「お茶のみ友

だち」「お茶に呼ばれる」とたくさんの慣用語が生まれたのも、お茶が生活に密着しているからでしょう。

私たちが普段飲んでいるお茶は煎茶に代表されるように茶葉から入れるものです。その点、茶の湯は粉末を用いるので、掛け離れているような印象がありますが、お茶をたしなむという点で、本質的に違うものではありません。そもそもは茶の湯の土壌があったために、それが日常化されて、煎茶をたしなむ風習が生まれたともいえるのです。

茶の湯(茶道)をはじめると、どの様な効用があるのか、いくつかの例を書きます。

- 1、社会生活に必要なマナーが身につく。
- 2、動作が美しくなる。
- 3、ストレスが解消する。
- 4、感性が豊かになる。
- 5、広い視野を養える。

このように、我々の生活の中に、茶道を取り入れる事により、いろいろな効用があります。みなさまの中で茶道を習っておられる方、教えている方が、(奥様も)おられましたら一緒に、千工会館の茶室を拝借しお茶会を開きませんか、きっと楽しいお茶会になるとおもいます。

## ⑧千葉市東支部だより

支部長 吉田 稔 (33M)

●電 話／043-291-6690

●地 域／若葉区、緑区

●定期総会／平成24年6月17日(日) 千葉市 プラザ菜の花

平成23年度の「千葉市東支部」の活動状況を報告致します。

先ず行事関係としては、去る平成23年3月11日に発生した、「東日本大震災」と同時に発生した「福島原子力発電所事故」により大幅な変更を余儀なくされました。

本部行事も含めて時系列で述べますと、4月予定の「本部ハイキング」及び「本部主催同窓祭」が中止となり、「千葉市3支部共催行事」では「ビール工場見学とバーベキュー」「原子力発電所見学」が中止となりました。いずれも大変人気の行事であり残念でしたが、その他の行事「竹の子狩りとバーベキュー」「グランドゴルフ」「ロッテ応援ナイター」等は予定どおり実施することが出来、当支部からも多くの会員が参加して大いに楽しみ、懇親を深めることが出来ました。また23年10月に実施された「本部主催ゴルフコンペ」では昨年の「団体優勝」とまでは行きませんが、3位入賞と安定した力を発揮しました。

一方、支部独自行事の中で、幹事会や懇親会でも参加者が増え、相互の懇親はもとより情報交換に役立っています(写真)。

次に組織拡大については、本年は本部からの助成もありましたので会員獲得に向けて活動を実施しました。

対象は前回の実施に続き昭和43年卒～同45年卒業生としました。「勧誘文書・会報・活動案内パンフ・アンケートはがき等」を同封し約100通発送しました。本部会報がお手元に届く平成24年3月までには該当する卒業生宅に届いている筈です。是非ご検討頂き入会して欲しいものです。



平成23年8月千葉市内で幹事会

## ⑨千葉市中支部だより

支部長 岡本 保彦 (33C)

●電 話／043-232-8903

●地 域／中央区全域

●定期総会／平成24年7月8日(日) 千葉市 プラザ菜の花

事務局 小安 秀次 (38M)

平成23年は、自然災害の多い年でした。3月11日の東日本大震災、夏の集中豪雨・秋口には西日本を絶て続けに襲った台風と大きな災害に見舞われました。とりわけ東日本大震災は千年に一度と云われる規模の巨大地震で被害も甚大でした。

その為支部活動も制約を余儀なくされることとなりました。

千葉市中支部の出来事としてはリーダーの岡本支部長が年初に大腸癌の摘出手術をされました。手術後は療養の為、行事への参加も限定される事となりました。早期の回復が待たれる処です。

前号で当支部の組織、活動状況については報告させて頂きましたので、平成23年度の現況を報告いたします。

### 1.組織について

会員数は新規入会者が退会者を下回った為在籍者は70名。役員構成については一部の退任者を除き概ね留任です。

### 2.行事について

レクリエーション活動については兄弟支部である千葉市西支部、千葉市東支部との共催ですが、震災の影響で中止を余儀なくされた行事も多くありました。

#### ※中止された行事

・日帰りバス研修旅行 3月22日 成田方面を予定(震災後の諸事情を考慮)

・グランドゴルフと懇親会 6月11日(降雨の為懇親会のみ実施)

・暑気払い「サッポロビール船橋工場見学」(震災により工場施設が損壊)

・新潟原子力発電所見学一泊・研修旅行(福島原発事故を考慮)

#### ※開催された行事

・竹の干狩りとバーベキューの集い 4月24日

・第16回千葉市西支部主催麻雀大会 6月25日

・千葉ロッテ応援ナイター観戦 7月30日

・第14回グランドゴルフと懇親会

・9月24日を10月15日に日程変更

### 3.千葉市中支部報掲載の座談会

母校の変遷、往事の思い出を記録に残しておこうという趣旨で、港校舎、検見川校舎、津田沼校舎、生実校舎の各時代毎に分けて座談会を実施して支部報に掲載する事としました。第1回は港校舎に学んだ会員は既にないので検見川校舎、津田沼校舎の前期卒業者を対象に実施しました。

座談会の内容は平成23年7月発行の千葉市中支部報、第19号に掲載しました。

## 北総支部 20周年記念祝賀会

北総支部創立20周年にあたり、10月30日に成田市メルキールホテルで記念祝賀会を盛大に開催した。式典とアトラクションで賑わった。



## 京葉支部 創立15周年祝賀会を催す

宇野 昭房 (34M)

平成23年5月8日にフローラ西船橋に於いて同窓会千工会京葉支部定期総会に引続き、同支部創立15周年祝賀会を催した。

来賓の祝辞の後、アトラクションに移り、千葉中支部湯浅稔氏による15周年記念甚句の演奏、船橋太鼓同志会の和太鼓演奏、テイチク専属歌手の津軽民謡・歌謡曲演奏があり校歌斉唱で好評のうちに開きとなった。



元職員 吉田 千尋

— 14 —

## 私と登山

宇野 仁章 (37M) (千葉県山岳連盟会長)



私の登山は卒業後、昭和38年頃から始まり、初登山は八ヶ岳で、同行は職場の先輩N氏であった。N氏はアンナプルナ山域グレーシャードーム7,193mの初登攀者で、国内でも高度な登攀に情熱を注いでいた

が、厳冬期の剣岳で当時最も困難とされていた、剣尾根の登攀後遭難死した。この命を賭ける山とは何だろうと心を動かされ登山に引きつけられる事になる。なかでも岩と雪の世界に大きな魅力を感じていった。

千葉県山岳連盟との係わりは、昭和42年頃からはなろうか。この頃から48年千葉若潮国体の開催準備で房総の山のコース調査が始まり多くの山域に県内の山岳会と共に入った。本大会は5コース3日間の山中日程で開催された。この頃指導員制度が確立され日本山岳協会公認指導員となる。

この頃岩登りの主流は伝統ある山岳会で、私のような地方の小クラブでは優秀な指導者に恵まれず、独学と情熱でその世界を切り開かねば成らなかった。幸いにもメンバーには恵まれ確実に実力をつける事ができ、国内数々の岩場に足跡を残してきた。

しかし、始めて間もない頃、剣岳の岩壁登攀ではオーバーハングから30mも墜落する事故に見舞われたが、パートナーの行木君(40M)の冷静な対応で、幸いにも軽傷で生還した。雪山でも雪崩に合ったり、メンバーの滑落、渓谷登攀でも瀑布の中に閉じ込められたり山行が多ければ危うい場面もそれに比例する。

県山岳連盟関係では昭和44年長崎国体選手。48年千葉国体コース役員。50年ごろ遭難対策委員長を引き受けた矢先、冬山の遭難があり大規模な捜索や遺体収容に奔走した。

その後、常任理事、国体委員長として選手強化、派遣を担当、61年山梨国体では監督として出場し、入賞を果たす。平成13年から理事長、副会長を経て21年から会長を引き受け、22年「ゆめ半島千葉国体」を実施。県選手団は前年の

新潟国体に続いて天皇杯2連覇、皇后杯も獲得した。また、今年の山口国体でも天皇杯3連覇、皇后杯2位と活躍した。

国体山岳競技は当初、縦走、踏査、登攀の3種目で行っていたため、顕著な山の無い千葉としては十分なトレーニングが出来ずに成績は振るわなかった。平成14年から踏査がなくなり登攀のウエイトが高くなると、早くから人口壁によるスポーツクライミングを振興していた千葉の実力を発揮することになり、一躍国体のトップ集団に踊り出る。成年男子の登攀4連覇等はその成果で、クライミング王国千葉と称されるようになる。更に平成20年の国体改革で縦走がなくなり、スポーツクライミングのみになると、ジュニア、少年、成年と厚い選手層を育んだ成果は更に顕著となり、頂点としての存在を全国に示している。

このような中で、県山岳界での我が千葉工業の存在は計り知れないものがある。かつてはインターハイ、国体の常連出場校であり、山岳連盟活動においても多くの同窓生が活躍している。中でも横元(27M)元山岳連盟会長は千葉山岳会の黎明期からの岳人で今なお助言をいただいている。岩崎(旧姓猪野)君(43M)は現理事長で活躍中。

また、山岳部OB会活動では、房総の山に素晴らしい指道標の設置をしていただき、複雑な地形の遭難防止やハイキングなどに安心を与えている。クライミングで欠かせないのが、小林先生(電気)だ。国体少年にクライミング競技の導入が決定すると、高校山岳部にクライミングボードを作って部活動に取り入れた。特に平成5年には本格的クライミングウォールを千工校庭の一角に建設して競技の普及と競技力の向上を図った。これは全国的にみても初めての施設であった。先生は市川工業に転任したが、ここでもウォールの設置と競技普及に努めている。

県下のクライミング環境では、幕張総合高校に国体選手強化用に設置されたウォールはジュニアや少年の育成に活用、印西市総合体育館メインアリーナのウォールは国体用に設置され全国一の環境を備えていて、来年はワールドカップが開催さ

れる。また、これらのウォールに先んじて開設された、クライミングのさきがけとなった船橋ロッキーに代表される民間スポーツジムや、野田市、習志野市のウォールが多くの優秀な選手を育てたことは言うまでも無い。このような総合力がクライミング王国千葉を不動のものにしている。

私の長い登山活動のなかで、その他の印象的なものを上げれば、富士登山競争（富士吉田市役所から山頂まで）4時間完走とか、マッターホルン頂上直下からメンバー不調で退却し、「また来よう」がそのままになっている。アメリカやイギリスでは仕事の合間の登山やスキーで楽しんだ。

ヒマラヤや各地の高峰にチャレンジ出来ていないのが悔やまれるが、真面目に仕事をしていると、何ヶ月に及ぶ休暇は無理だった。お陰で今も生きながらえているというものだ。とことんやればやるほど命を失う確率が高くなるのが登山なの

だ。今、最も情熱を傾けているのが山岳スキーだ。これはメンバーに恵まれて、八甲田、岩木山、鳥海山、月山、立山、剣岳、その他多くの山域にシュプールを刻んでいる。体力のあるうちに海外の山にもチャレンジしたいと思っている。

筆者注：ボードは小規模パネル、ウォールは大規模な壁

## 第66回国民体育大会 山岳競技



山口国体山岳競技で 左端 宇野氏

## 特修1期生として

伊藤 洋一（56M特）



本校が、「働きながら専門的な知識を身につけたい」と願っている社会人を対象に、千葉県内の高校で初めて、特別修学生（特修生）の募集を開始したのが昭和54年からでした。この特修生制度とは具体的には、高校を卒業して社会に出て働いている人で、更に専門的知識を学びたいと思っている人を対象とし、既に普通高校で取得してある一般的科目は免除され、工業高校で学ぶ専門的科目だけを2年間で取得して卒業する制度で、入学するといきなり定時制の3学年に編入され、後2年間は授業や学校行事等は全て定時制の生徒と同一行動です。

本校では、この制度が出来た昭和54年度は機械科だけでスタートし、翌昭和55年度からは電気科もスタートしたと記憶しております。私はこの特修生・機械科の1期生として本校で2年間楽しく学ばせていただき、昭和56年3月卒業させていただきました。尚、この特修1期生としての卒業の様子は、昭和56年3月8日の卒業式当日の朝日新聞千葉版のトップ記事として、「よくがんばった特修1期生」県立千葉工定時制の二人と

いう記事で、当時の斉藤教頭先生と担任の錦織先生、同期の武内さんを交えて、4人の写真入りで大きく報道されたことが思い出されます。

当時私は市原市にある富士電機千葉工場に勤務しており、本校OBもたくさん働いておりました。卒業した時は40歳、某タレントの名セリフを借りれば「あれから30年」今私は71歳になりました。今年は遅まきながら、市原市支部会員に加入させていただきました。おかげ様で支部のグランドゴルフ大会や、千工会のゴルフ大会にも、先輩会員からお声を掛けていただき参加させていただきました。これからは千工会の諸行事にも積極的に参加させていただき、皆さんとの交流をより大切にしながら、日々悔いのない人生を送って行きたいと願っております。

「喜び胸に巣立つ伊藤、武内さん」  
卒業式当日の朝日新聞千葉版



喜び胸に巣立つ伊藤、武内さん

昭和56年3月8日の卒業式当日の朝日新聞千葉版

## 山本 正勝 氏 (25E) 平成23年 安全功労者内閣総理大臣表彰を受ける

関口 昌利 (30M)

安全功労者内閣総理大臣表彰は、毎年7月1日を「国民安全の日」とし、「国民の一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業火災、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図る」という趣旨に基づき、行なわれているものです。

### 功績の概要

四街道市危険物安全協会会長等として、四街道市産業祭りにおいて、消防本部等とともに「消防コーナー」を開設し啓発物品の配布や消防相談を行なうとともに、危険物に関する知識を高め、危険物の取り扱い及び管理技術の向上を図るため、研修会や講習会を開催するなど、火災予防活動及び火災予防思想の普及に多大な貢献をした。(総務省、消防庁)

### 受賞者の紹介

昭和47年、印旛地区危険物安全協会から四街道町危険物安全協会が独立すると同時に理事に就任、

副会長職を経て平成2年5月に会長に推挙される。入会以来、「危険物に起因する災害の防止を図る」という協会の目的を達成するため、危険物の取り扱い及び管理技術の向上に努め、協会の発展に貢献するとともに、平成15年5月から(社)千葉県危険物安全協会連合会の監事を務めるなど安全管理の徹底と意識の高揚に多大な貢献をしている。



平成23年7月1日 総理大臣官邸大ホールにて

## 朗読ボランティア「佐倉市こおろぎの会」

北総支部 古川 千枝子 (38C)

平成23年春の叙勲で「佐倉市こおろぎの会」が「緑綬褒章」を戴きました。佐倉市のボランティアGでは初めての事でとても嬉しく思います。会は今年38年目を迎えました。

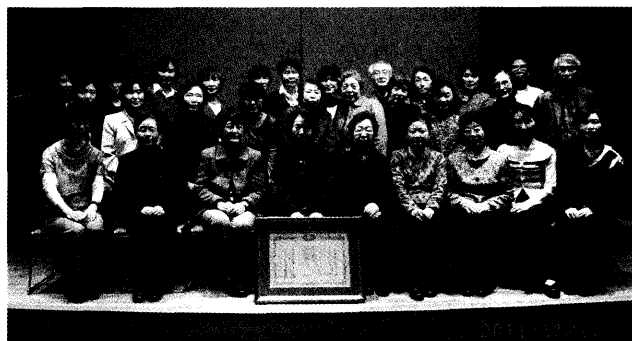
私がこおろぎの会に入会したのは34年前、切っ掛けは「朗読教室」。三男が幼稚園に通い始めて、自分の時間が持てるようになった時でした。その頃、佐倉市では「ボランティアを育てよう」という時期でしたので、6ヶ月の勉強は楽しく、子供とばかり向き合っていた日常に別の励みを覚えました。

入会すると「読み」と「録音」。34年前ですから「オープンリール」の録音でした。録音室も無く、室の時計を外してからという状態でした。録音機器も進歩し、朗読と共に録音操作も変化し、平成23年4月からはPC録音になり「CD」でリスナーさんに届けています。

主な活動は、視覚に障がいをお持ちの方に「市・

県の広報類や刊行物」やご希望の本等を読んでいきます。また電気製品などの取扱説明書を読んで欲しい等、「共に生きる社会」の手伝いが出来ると、楽しく作成しています。

家族の介護や私の怪我などで休む事も多くありました。「出来る時に、出来る人が」を心に続けられました。会員には吉岡茂夫(38E)さんも居り活動しています。



前列左から3人目 古川 千枝子さん

# 東日本大震災による福島県立小高工業高校からの転校生

工業化学科2年 紺野 豊

千葉工業の先生方、OBの方の支援のおかげで、有意義な学校生活を送っています。

ほんとうにありがとうございました。

私は今回の東日本大震災による原発事故により避難生活をするようになりました。

3月15日より福島県飯坂町の避難所に避難し、3月28日に父の会社の関係で、千葉に引っ越ししてきました。千葉県の教育委員会から千葉工業高校を紹介してもらい、5月2日に転学することができました。先生方には編入試験当日より大変よくしていただき、ありがとうございました。現在多くの友達もでき、また陸上部に所属し、学校生活がとても楽しいです。OBの方には、学校で使う身の回りの物から、陸上部に必要なスパイクやユニホームなどを支援してもらい、感謝の気持ち

でいっぱいです。おかげで大会まで出場することができました。卒業までの短い期間ですが、勉強・部活動にがんばろうと思います。



## 東日本大震災 旭市義援金のお礼について

昨年3月11日の東日本大震災は、千葉県でも甚大な被害を被りました。同窓会でも、外房支部定期総会延期、同窓祭中止、各支部行事の延期、中止等となりました。なかでも旭市は想像を絶する被害となり、同窓会でも多少ではありましたが義援金を旭市に寄付させて頂きました。この義援金は同窓祭の中止に伴う参加費の一部と同窓会本部からの補助で賄いました。

被害にあわれた方の一刻でも早い復興をお祈りいたします。

| 領 収 書         |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 納入者(氏名)       | 〒260-0247 千葉市中区今井町1478 千葉工業同窓会 様 |
| 納入金額          | 金 額 300,000 円                    |
| 納入金種別         | 災害義援金                            |
| 合計            | 300,000 円                        |
| 上記の金額を領収しました。 |                                  |
| 交付年度          | 平成23年度                           |
| 交付月           | 4月                               |
| 交付日           | 23.4.3                           |
| (私込人に交付)      |                                  |

千葉工業同窓会会長 高橋 正己

皆様の善意が被災された旭市の皆さんの一日も早い復興に役立つことと思います。

ご協力に深く感謝申し上げます。

### 旭市震災支援へのお礼

このたびの東北関東大震災に際しまして、心温まる義援金をいただき、誠にありがとうございました。

3月11日、午後2時46分、突然震度5強の大地震が旭市を襲いました。死者13人、行方不明者2人、負傷者12人、住家の全壊427棟、建物被害は2,768世帯に及んでいます。特に飯岡地区においては、テレビや新聞にも報道されましたが、大津波が数回にわたり来襲し、本市の有史以来最大の被害を受け、無残な姿に変わり果て、いまだ多数の被災者が避難所生活を余儀なくされています。

現在、復興に向け金職員一丸となり、ボランティアや民間事業者のご協力をいただきながら、一刻も早く住みやすい地、安心安全な地を目指して全力で取り組んでいるところであります。皆様からいただいた義援金につきましては、被災者のために、大切に使用させていただきたいと考えております。

皆様方のご厚情、ご支援に対しまして心から感謝を申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

平成23年4月

千葉県旭市

市長 明智 忠直

## 元バレーボール監督 中谷先生を囲んで

吉原 茂 (46C)

中谷先生は千葉工業高校に昭和38年から52年まで在籍し、バレー部の監督をされていました。現在は千葉県体育協会理事、スポーツ委員会委員長、千葉県バレーボール協会会長と多忙な毎日を送っています。県内には沢山のバレー部の教え子がありますが、先生は千葉工業が特に思い出深い様です。



2010年10月千葉国体にて皇太子殿下とバレーボール観戦

そんな先生を囲んで、2011年11月6日千葉駅前「日本海」にてバレー部OB達が集まり、先生の慰労会を含め、又学生時代プレー中にミスで監督に頭をたたかれたりした良き思い出を語りながら沢山酒を飲み、二次会では先生のカラオケを聞きながら大いに楽しみました。



2011年11月6日 千葉駅前「日本海」にて

## 千葉マスタース陸上競技選手権大会で金メダル2個

大野 繁樹 (36M)

今、世の中は震災、円高、経済不況、気象異常、原発事故、放射能問題等で大変な問題があり、余り良い事ありません。世の中、地球温暖化等でどうなってしまうのでしょうか。それでも私達精一杯生きていかねばなりません。悪い事ばかりでは困ります。最近私の身のまわりに一寸したうれしい話題を聞いてください。いくつかの運動をしています、約20年続けている千葉マスタース陸上競技で7月24日に30回目の記念大会が実施されました。記念大会と1人3種目出場ができる中で私は100mハードル、60m、砲丸投げに

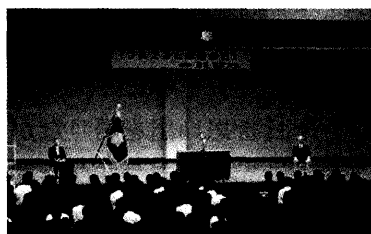
出場し、100mハードルではいつものライバルに勝ち1位になりました。砲丸投げは私1人で1位となり2つの金メダルを頂きました。60m走は3位でした。私としては金メダルなんて初めてでした。とてもラッキーでハッピーな陸上競技の成績でした。賞状と金メダルの飾り場を探しています。

思いの外大きく、ずっしりと重い金メダルです。これからもトレーニングをして頑張っていきたいと思います。



# 千葉工業高校この一年

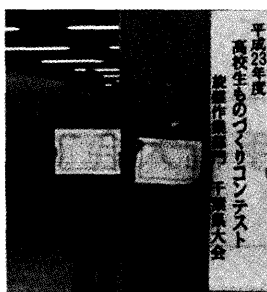
## 創立記念講演会



平成23年5月9日、母校昭和31年度電気科卒業の住田敏和先生を講師に迎え、「J A Z Z と鉄

道の日々」の演題で、講演していただきました。外房支部の支部長の住田先生は、長く鉄道関係に勤務されていたということで、鉄道の技術的なことなどを、生徒の質問にわかりやすく説明していただきました。また、趣味でもある音楽を交えながらの楽しい講演会でした。

## 旋盤競技同好会ものづくりコンテスト 全国大会出場



高校生ものづくりコンテスト千葉大会旋盤作業部門で、後藤尚紀君が優勝。西藤寛生君が準優勝で後藤君は関東大会に出場。ここで満点優勝し、全国大会に出場しました。旋盤競技同好会では、5年連続全国大会に出場しています。

## 機械発明創作部ロボット相撲 全国大会出場



今年度は第23回全日本ロボット相撲東北大会で鵜殿幸汰君が準優勝し、全国大会に出場しました。

## 春季植栽



同窓会環境整備委員ほか15名（校長先生含む）による春の植栽がおこなわれました。

## 野球部 夏の県大会



二回戦東金高校と延長10回に4-3で勝利し、3回戦専修大松戸高校と対戦。2-6で惜敗しました。

## 山岳部 JOC 出場

山岳部は県総体クライミング競技で団体3位、個人新川裕希君が2位となり、8月の第14回JOCジュニアオリンピック大会に出場しました。新川君は千葉県ボルダリング大会でも2位になっています。

## 吹奏楽部 全国大会で優秀賞



第17回 日本管合奏コンテスト全国大会で高校部A部門で優秀賞

第53回 千葉県吹奏楽コンクール 高等学校B部門 金賞

第37回 千葉県アンサンブルコンテスト 金管六重奏で銅賞受賞と大活躍の一年でした。

## 千工ならではの部活動 地域で活躍



機械発明創作部、電気発明創作部、コンピュータ技術研究部、工業化学科ではロボフェスタや千葉市中央区ふるさとまつり、きぼーろロボフェア2011などに参加しました。

## 第59回 千工祭



11月5日、千工祭がおこなわれました。当日は深山副会長が委員長を務める「開かれた学校づくり委員会」が開催され、学校に対する貴重なご意見をいただきました。また、小学生親子ものづくり教室も開催され、大盛況でした。

## 総合技術コンクール 知事賞受賞

11月26日、千葉県の工業系高校の生徒を対象に、第28回総合技術コンクールが京葉工業高校でおこなわれました。日頃の学習活動で身につけた高度な技を、10部門の競技で競い合います。本校では最高の賞である知事賞を以下の生徒が受賞しました。

電気工事部門 鳥海祐督君

ロボットコンテスト 富樫貴信君

鳥海君は電気科一年生。一年生の知事賞は初の快挙です。その他多くの生徒が入賞しました。

## 自動車部 HONDAエコマイレージチャレンジ2011



10/8.9ツインリンクもてぎで行われた大会において、ガソリン1リットルで1146.508Kmを走り、19位/157チーム中という記録でした。

## 2年生がインターンシップ

今年度のインターンシップは平成23年10月24日から28日でおこなわれました。お忙しい中、44社の企業に95名の生徒を受け入れていただきました。将来の進路について大変参考になりました。

## ベトナム国際交流事業



今年度も姉妹校でもある、ハノイ工科短期大学との交流事業がおこなわれました。

10月にはハノイ工科短期大学の教員が来校し、研修がおこなわれました。また、12月11日から17日まで、生徒4名、引率職員2名(校長先生を含む)でベトナムを訪問しました。現地では大歓迎で迎えられ、交流会や記念プレートの共同製作などをおこないました。

## 第13代校長 渡邊貞雄先生 ご逝去される

松浦 悟 (53E)

渡邊先生は昭和38年から本校の教諭として勤務され、後に千葉県教育庁指導課を経て、平成6年から10年まで本校校長としてご尽力くださいました。

誠に残念ながら、平成23年8月31日、薬石効なく永眠されました。

先生は教育界に多くのご功績を残され、教育功労者、産業教育功労者など多くの賞を受賞され、平成23年9月には正六位瑞宝双光章を受章いたしました。

先生の温かい生徒指導を受けた同窓生も多いのではないのでしょうか。私も先生に電気のすばらしさを教えていただき、先生のおかげで教員になることができました。教員になってからも多くの事をご指導していただきました。平成21年にはご病気の体で、母校の創立記念講演会でご講演されました。先生の優しい笑顔と教えをいつまでも忘れずにいたいと思います。ご冥福を心からお祈りいたします。

## 平成23年度 進路状況(全日制)

●就職内定者数132名(希望者134名) 内定率99% 求人数625人 求人倍率4.77倍

**工業化学科** 富士フィルムR Iファーマ マルヤマエクセル 日本曹達 チヨダウーテ 千葉総業 イトーキ J-オイルミルズ カマタ 白鳥製薬 JFEケミカル 協和発酵ケミカル 東レ 君津農業協同組合 JFEテクノリサーチ 瑞穂医科工業 吉野石膏 住友化学 日鐵物流君津 三井造船 広栄化学工業 王子コーンスターチ 幕張化学硝子製作所 国際炭酸 日本クライス

**電子機械科** 旭ダイヤモンド工業 三菱化学メディエンス 出光興産 東京ガス 新日本製鐵 田辺工業 前田製作所 日鐵住金建材 日本板硝子 日立産機システム 習和産業 宇部興産 日立プラントテクノロジー 千葉市消防 ジャパンペール 山九 多田機工 モリタ環境テック JFEテクノリサーチ 京葉臨海鉄道 山九プラントテクノ DIC 明正工業 JFE鋼管 荏原製作所 フジケンエンジニアリング 協和発酵ケミカル 三菱電機 日鉄環境エンジニアリング 富士港運 Men'sTARO HOMME HAIR 尾崎製作所 荏原エリオット 東芝エレベータ 日本スピング JFE建材 京成自動車工業 日野自動車 宇部マテリアルズ ラインワークス デンカポリマー 豊橋飼料 JFEスチール 大岩マシナリー 東邦化学工業 ホシノ 大日本除虫菊 エレケア 丸一鋼管 JFE物流 日立ツール 三井造船 千葉機工エンジニアリング いすゞマリン製造 イトーキ 山九プラントテクノ エレテクノス 東京アート 黒崎播磨 トーカロ

**電気科** ニチイ学館 マルヨシ工房 東関東メルテック 日本曹達 三球電機 千葉施設管理センター 関電工 旭ダイヤモンド工業 東海マテリアル 千葉ヤクルト工場 産機テクノサービス 山九 小峯電業 君津共同火力 関東電気保安協会 JFE鋼管 ワイ・エム・メンテナンス JFE建材 鉄道信号 電気化学工業 JFEケミカル リコーロジスティクス 塚本総業 日立ビルシステム 田辺工業 田電機工業 三菱製鋼千葉 関電工 合同製鐵 山九東日本サービス 東海電設

**情報技術科** ハッコーエレクトロニクス 富士通エフサス・カスタマサービス 東日本電気エンジニアリング メリーチョコレートカムパニー 自衛隊 昭和産業 共栄プラント リプロントーワ 日本製粉 オリエンタル酵母工業 シー・ディ・テクノロジー

●大学・短大34人 専門学校23人

日本工業大学 敬愛大学 千葉科学大学 千葉経済大学 千葉工業大学12人 国士舘大学 帝京平成大学 日本大学6人 東京電機大学3人 東京情報大学2人 芝浦工業大学 江戸川大学 東京工芸大学 千葉県職業能力開発短期大学校 了徳寺学園医療専門学校 東京リゾート&スポーツ専門学校 船橋情報ビジネス専門学校2人 東京バイオテクノロジー専門学校 大原簿記公務員専門学校 千葉県自動車総合大学校6人 鯉淵学園農業栄養専門学校 日本自動車大学校2人 ESPミュージカルアカデミー

順不同

# ★「千葉工業同窓会」地域支部会員、大募集★

ご承知のように、私達は卒業時に「終身会費3,600円」納入して千葉工業同窓会員となっています。しかし、地域支部に参加しなければその良さは実感できません。クラス会や職場千工会から更に広範に、同窓の皆さんとの関係が深まり、異業種交流の機会にもなるはずです。

まだ入会されていない同窓生を、それぞれの地域支部が待っています。【地域支部の支部長名と電話番号】を参考に、是非とも連絡してください。

## ●地域支部の支部長名と電話番号

| 支部名   | 支部長名         | 電話番号         |
|-------|--------------|--------------|
| 南 総   | 齊藤 誠一郎 (37E) | 0439-52-3059 |
| 北 総   | 早尾 茂 (26E)   | 043-422-8825 |
| 市 原 市 | 大野 繁樹 (36M)  | 0436-74-5753 |
| 千葉市東  | 吉田 稔 (33M)   | 043-291-6690 |
| 千葉市中  | 岡本 保彦 (33C)  | 043-232-8903 |
| 千葉市西  | 石井 孝司 (30E)  | 043-241-2526 |
| 外 房   | 住田 敏和 (31E)  | 0475-73-4558 |
| 京 葉   | 川村 義郎 (40M)  | 047-451-0247 |
| 東 葛   | 吉田 勝彦 (32E)  | 04-7191-0232 |

## ◆編集後記◆

昨年は東日本大震災、福島原発事故、猛暑、豪雨の未曾有の一年でした。被災された皆様の一刻も早い復興をお祈りいたします。

昨年初秋、第13代校長 渡邊 貞雄先生が逝去されました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

今号は、東日本大震災関連と身近なニュース等で多くの同窓生と知り合い原稿をお願いしたところ、心よく執筆して頂きありがとうございました。お礼申し上げます。

会報編集委員会では、大塚事務局長、井上委員、滝口委員が退任されました。永い間ありがとうございました。新しく富田、野村さ

んが委員になりました。

広報編集委員の皆さんをご紹介します。

委員は支部定期総会開催順に記載。

- ・編集委員長：若月忠良(37M、北総・京葉)
- ・副委員長：住田敏和(31E、外房・東葛)
- ・事務局長：松浦悟(53E、千葉工)
- ・委 員：比連崎正幸(60M、南総)、松崎文男(37M、外房)、大橋政孝(54E、千葉市西)、宇野昭房(34M、京葉)、大野繁樹(36M、市原市)、橋本勇(42E、北総)、富田博(44M、東葛)、野村隆男(35E、千葉市東)、関口昌利(30M、千葉市中)

## 第22号 お詫びと訂正

| 頁  | 誤                          | 正                           |
|----|----------------------------|-----------------------------|
| 9  | ⑥北総支部の地域                   | ⑥北総支部の地域                    |
| 12 | 成田・栄、佐倉、四街道、八街、印西、香取       | 成田・栄、佐倉、四街道、八街、酒々井・富里、印西、香取 |
| 21 | 36M-B 3年連続クラス会             | 36M-B 久々のクラス会               |
| 22 | 39M 卒業45年、クラス会開催 大塚英明(39M) | 40M 卒業45年、クラス会開催 大塚英明(40M)  |

## 第27回「同窓祭」開催のご案内

同窓生の皆様お元気ですか、皆様のご支援ご協力により「同窓祭」も27回を迎えます。(第26回については、誠に残念ですが「東日本大震災」「原子力発電所事故に伴う計画停電」等の事件をふまえ中止しております。)例年、吹奏楽部OB・OGの演奏・竹とんぼ教室等で盛りあがっています。

私ども、同窓祭実行委員は同窓祭に参加される皆様が「参加して良かった。楽しかった」と思っただけのようにと考えています。

今年も例年のように、9時から「スーパー竹とんぼ教室」を開催します。懐かしい先生方もお見えになります。同級生はもとより、クラブ活動、或いは通学を共にした仲間を誘って是非ご参加下さいますようご案内申し上げます。

同封の振込用紙にご出席の有無を記入して、会費また同窓会報基金に賛同いただける方は3月15日までに送金願います。なお、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付けます。その後の同窓会報基金の振込は、何時でも何口でも歓迎いたします。

なお、社会状況の変化から、すでに学校敷地内での喫煙は禁止されており、飲酒についても好ましい状況ではないことから、アルコール類は無しで開催することとしております。

●日時 平成24年4月15日(日) 11:30 ~ 13:30

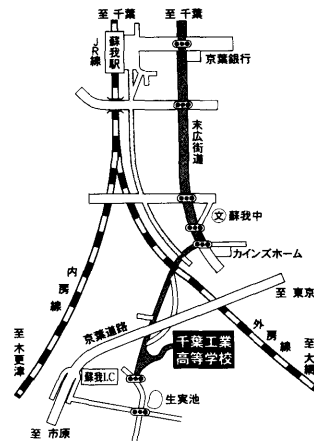
●場所 千葉工業高等学校 食堂

●会費 2,000円(振込用紙にて)

注：会費は値上がりしています。

・喜寿のお祝いを予定しております。  
生年月日の記入をお忘れなくお願いします。

・JR蘇我駅より徒歩約20分、駐車場が無い場合、公共交通機関を利用し来校するようお願いいたします。



### 恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

●主催 千葉竹とんぼ倶楽部  
(千葉工業同窓会)

●日時 平成24年4月15日(日) 9時~11時

●場所 千葉工業高等学校 食堂

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

### 同窓会幹事会の開催

通常幹事会を開催します。幹事(各クラスから選出、各地域支部から推薦)と常任幹事はご参集ください。

●日時 平成24年5月13日(日) 14:00 ~ 16:00

●会場 千葉工業高等学校 会議室 (本館2階)

●議事 会務報告・会務計画・他

### 原稿・情報をお待ちしています

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案・情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

題字 安藤 信吉 (20M)

### 千葉工業同窓会報

第23号

発行日 平成24年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 高橋 正己

事務局 〒260-0815

千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL043-264-6251 FAX043-268-5524

千葉工業高等学校ホームページ <http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>